

別紙 1 (第 1 号議案)

平成 27 年度事業報告

I. 総括

- ◆平成 27 年における主要観光施設の入り込み状況・温泉地の入湯客数（観光客入込動態調査）を見ると、出雲大社の平成大遷宮効果も落ち着いてきたことやバスツアーの料金高騰などもあったが、一方、宿泊観光客の増加を目的としたプレミアム宿泊券が好評だったことなどもあり、これらの要因を合わせると、県内全体では前年を若干下回ると見込まれる。
- ◆一方、交通インフラ整備では、山陰道や山陰近畿自動車道の延伸、また、中国やまなみ街道（中国横断道尾道松江線）の全線開通などによる利便性向上とともに、県内を広域的に周遊する定期観光バスの運行などより、周遊しやすい環境整備が進んだ。
- ◆また、前年オープンした鳥取・岡山共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」は、首都圏における両県連携の観光 P R、物産販売、商談等首都圏からの誘客や発信拠点として活用されている。
- ◆グリーンツーリズムやエコツーリズムなどの分野では、鳥取ならではの優れた自然環境や伝統文化、きめ細やかな県民性などを活かして、着地型体験メニューの開発や民泊事業への関心を深めるとともに、教育旅行については「鳥取県教育旅行誘致促進協議会」を設立し、本県における修学旅行誘致への取組が動き始めた。
- ◆平成 27 年度は、年度当初にプレミアム宿泊券の完売、また世界的規模のコーヒーチェーン出店や地元店のニュースもテレビ等で話題になるなど、鳥取県が注目されることとなった。このような話題性は、本県の認知や興味関心につながり、本県への旅行の喚起に欠かせない要素であることから、これらを活かしながら「とっとり THE パークキャンペーン（トリパス）」や「蟹取県ウェルカニキャンペーン」など、具体的に来訪、宿泊、周遊等につながるよう誘客キャンペーンを展開した。
- ◆県においては、鳥取県観光振興条例に基づく「ようこそようこそ鳥取県運動取り組み指針」の改訂に取り組みられ、向こう 4 年間（平成 27 年度～30 年度）の観光振興のあり方や目指すべき方向、具体的な取り組みが示されたところである。
- ◆当観光連盟においては、平成 27 年度から複数年にわたり「個人・グループ旅行誘致」という一貫した施策に取り組むとともに、平成 27 年 4 月から始まったコナンミステリーツアー、三徳山と三朝温泉の「日本遺産」認定といった話題性のある素材を、鳥取の魅力としてタイムリーに県内外へアピールし、観光振興を通じた地方創生に努めた。
- ◆当観光連盟は平成 25 年度から公益社団法人に移行したところであるが、観光誘客促進による県経済や地域の活性化という公益目的達成と、会員連携による会員へのメリット還元という使命をより明確に果たしていく必要があり、そのために会員意見がダイレクトに反映される組織としての運営に一層努めていく必要がある。

Ⅱ. 各事業の実施報告

1 地域受け地づくり対策推進事業

() 内は最終予算額

(1) 地域観光魅力づくり支援事業 決算額 10,942,865円(12,262千円)

◇会員からの商品企画への相談支援や情報収集を行うとともに、新素材や2次交通を含めた着地型旅行商品等を旅行会社への提案、販促活動を行った。また、県外イベント等での鳥取県PR活動や旅行相談を実施し、誘客活動や情報発信を行った。

① 各地域のプロモーター活動支援等

旅行会社から職員の派遣を受け、県内会員の商品企画への支援や勉強会などへもオブザーバー等として派遣。また、県との折衝や関係事務作業、各地域のプロモーターの活動支援を行うとともに、中四国・九州方面のプロモーション活動に従事した。

② 「開運八社巡り」の実施

たたら文化に由来する、縁起のよい漢字を用いた神社八社と、その年の干支所縁の神社を巡る周遊企画「因幡伯耆國 開運八社巡り」の「未年」及び「申年」を実施した。各神社でスタンプを押印していただく「開運手ぬぐい」と「招運良い宮巡り福紗」を引き続き販売し、手軽に県内周遊を促すアイテムとして好評を得た。また、関西エリアのテレビ局と旅行会社とのタイアップにより、初めて関西から日帰りで「開運八社巡りバスツアー」が催行された。(H27年度実績:開運手ぬぐい未年1,027枚、同申年1,693枚、招運福紗422枚販売)

※詳細は別途報告

(2) 「出会い ふたたび 鳥取の旅づくり」事業 決算額 23,800,191円

(24,800千円)

◇近年、「個人・グループ旅行者」が観光客の多数を占めていることから、複数年にわたる誘致関連事業を展開する。「魅力的な観光素材の磨き上げ」「旬の情報を適時・的確に届ける」「お客様の声が提供側に伝わる」など、顧客視点に立つ鳥取の旅の提案に努めた。

① 連盟会員向けページの開設

連盟ホームページ内に連盟会員向けページを開設。会員宛にメールで情報提供を実施した。

② 会員向け相談会の開催

観光プロモーターや連盟職員による会員向け相談会を、毎月開催した。

目 的：会員と観光プロモーターらとの相談等を行う機会を設けること

により、会員の有する誘客・受入の企画・商品に対して助言等を行うことにより、品質の向上などを促し、商品化や利用促進に繋げる。また、この機会を活用し、会員との関係強化を図り、会員との情報交換の活発化に資する。各プロモーターにおいては、内容を熟知し、各活動領域でのプロモーションに活用する。

実施期間：平成27年4月～平成28年3月 計12回開催

内 容：各施設の企画内容や販促内容の相談。地域イベントの紹介や誘客策の相談。
意見交換など

参 加 者：連盟の宿泊・食事・入場・立寄り施設、県ジオパーク推進室、県WTC室、鳥
取港振興会、県内市町村観光担当部署など

③新聞等による情報提供

新聞等の企画掲載枠を利用して、広く消費者に鳥取県情報の提供、旅行喚起を実施した。

※連盟実施分及び会員実施分で、読売新聞大阪夕刊（1回）、中日新聞夕刊（4回）、
サンケイスポーツ（10回）の企画掲載枠を利用して実施した。

④地方創生ととりの旅づくり事業

(ア) 鳥取の旅づくり魅力ある観光地づくり事業

目 的：鳥取県での周遊や滞在、地域での消費喚起などを促進するため、地域課題解決に
意欲を有する地域を実証地域とし、地域の食、自然や文化、体験などの「既存の
地域資源の磨き上げ」や「新規観光商品の開発と売れる化」への取組を行った。

内 容：対象地域 日野郡3町、琴浦町、八頭・若桜町

○専任のコーディネーターによるワークショップとミーティングの実施

- ・ワークショップ 各地域3回
- ・ミーティング（日野郡3町12回、琴浦町6回、八頭・若桜町7回）

○3地域と周辺観光地に対する顧客ニーズ調査の実施

- ・調査方法／インターネット調査
- ・調査対象／関東以西地域（九州除く）20～60歳代の男女1,040人

○各地域の取組状況

- ・3地域共通： 既存観光商品の売れる化ブラッシュアップ
- ・日野郡3町： 日野郡共通の昼食グルメを開発。共通ルール、組織づくり
- ・琴浦町： 「グルメの町・琴浦」コンセプト立案に向けた検討
- ・八頭・若桜町： 両町で共通するコンセプト策定（鉄道や国道を活用）

(イ) 岡山県対象カスタマーニーズ調査

鳥取県に距離的に近く、宿泊旅行者も多い岡山県エリアに対する本県観光資源の訴
求ポイントや来訪を期待するターゲットの明確化を図るため、岡山県民に対して、鳥取
県の地域資源についての認知度、興味度、経験度に関する調査を行った。

○調査方法／インターネット調査

○調査対象／岡山県内20～60歳代の男女500人

⑤着地型観光・体験情報発信事業

鳥取県への旅行者に、地域資源を生かした着地型観光メニューを観光情報とともに発信
するよう、直接体験予約が可能な日本最大級のレジャー・体験予約サイトを活用し、増加す
る個人客に強く訴求し、ダイレクトな誘客に繋げ、情報発信の拡散を図った。

(ア) 着地型観光・体験情報発信事業

○鳥取県ブランドページ構築

日本最大級のレジャー予約サイト「asoview! (アソビュー)」サイト内に、鳥取県の着地型観光メニューおよび観光情報を集約した特集ページを季節毎に公開した。

公開期間：(春夏版) 6月18日～

(秋冬版) 10月22日～平成28年3月31日

○WEBプロモーション(アソビュー内部や外部サイトの誘導枠利用)

○分析レポートの提出、戦略会議の実施(各3回)

- ・ブランドページの総ページビューは約4,000万件、訪問者数は約2,800万件
- ・アソビューを通して、体験プログラムに2,267件の申し込み、6,127名の来訪

(イ) 着地型観光・体験予約インフラ構築事業

○研修会の実施

主に体験メニュー事業者の集客のためのノウハウや情報発信の方法の習得等、体験プログラムの商品価値や販売力の向上を図るため、アソビュー(株)による研修会と体験事業の運営等の相談会を実施した。

・サービスベースアップ研修会の実施

日時：平成27年6月9日(火)

参加者：体験事業者、宿泊施設、県、市町村、観光協会等 61名

・体験型旅行商品提供事業者向けインターネット活用研修会(入門編)の実施

日時：平成27年9月28日(月)

参加者：体験事業者、宿泊施設、県、市町村、観光協会等 47名

○体験サービスコンサルティング

「asoview! (アソビュー)」登録事業者を対象に、同社スタッフによる実地体験を行い、体験プログラムの運営、対応等の各項目について点検し、評価及び分析レポートとして品質向上を図った。

日時：平成27年8月7日(金)、8日(土)

訪問先：シャワークライミング(智頭)、パラグライダー(鳥取砂丘)、スタンドアアップパドル体験(岩美、皆生温泉)、乗馬体験(大山)

⑥ 中国自動車道加西SA(下り線)観光情報発信拠点化

目的：関西方面から山陰方面への向かう自家用車やバスツアーの立ち寄り休憩の利用度が高い加西SA(下り線)において本県観光客誘致を促進すべく、加西SAを観光情報発信拠点化を図った。

実施内容：リーフレットスタンドを活用し年間通じて鳥取県観光パンフレットを配架。休憩所壁面に鳥取県の観光情報をPRするステッカーを掲示。

観光PRのイベント開催地として活用し、会員を含む県内関係者と共に、パンフレット提供、旅行相談、ゆるキャラ撮影会などのPRやアンケート調査などを通じて鳥取県へ誘客と周遊・滞在時間の拡大を図った

イベント開催時期 平成27年4月、7月、8月、12月の4回開催

⑦鳥取県においでよ！キャンペーン実施事業（観光パスポート事業）

鳥取県への誘客および県内での宿泊、周遊、滞在等を図るため、通年で「トットリ THE パーク!!誘客キャンペーン」の実施を実施し、時期に合わせた観光情報やスタンプラリー企画、会員施設等の優待特典情報を掲載した観光パスポート「トリパス」を発行するとともに、チラシやホームページ等でキャンペーン実施の情報発信を行った。

内 容：キャンペーンは次の3期で実施。

○とっとり春旅キャンペーン（期間：4月18日～6月30日）

発行部数：観光パスポート 30,000部／チラシ 50,000部

宿泊プレゼント特典 応募件数／1,767件

スナバ特典（スタンプラリー） 応募件数／40件

施設優待特典／140施設

○とっとり夏旅キャンペーン（期間：7月1日～9月30日）

発行部数：観光パスポート 50,000部／チラシ 30,000部

ひんやりデザートスタンプラリー 応募件数／153件

施設優待特典／146施設

○とっとり秋旅・冬旅キャンペーン（期間：10月1日～平成28年3月31日）

発行部数：観光パスポート 40,000部／チラシ 60,000部

とっとり秋旅・冬旅周遊スタンプラリー

・秋応募（10月1日～11月30日 応募：948件）

・冬応募（12月1日～平成28年2月29日 応募：1443件）

施設優待特典／150施設

その他：他の団体、事業者の「トリパス」の活用事例

・県の広報宣伝で紹介され、県外旅行会社から多数の配布依頼あり

・県のイベントで活用され増刷

・勝手にスナバキャンペーン（5月県広報課）春版3万部

・ウェルカニお泊りキャンペーン（11月県観光戦略課）秋冬版3万部

⑧ホームページ、SNS等情報発信事業

・鳥取県観光連盟ホームページ内で、時期に合わせた旬のテーマや交通、キャンペーン等の特集を継続的に掲載した。

・フェイスブックに加え、ツイッターを開設し、適時の情報発信を行った。

・ホームページの更新情報や県内の話題、テレビ等マスコミでの取り上げ情報などを会員に周知し、相互の情報発信強化に努めた。

（3）広域観光機能強化事業

決算額 4,190,465円（3,739千円）

◇鳥取・島根両県全域をエリアとする山陰観光推進協議会に両県観光連盟も構成員として参画、事業推進に当たった。

〈主な事業〉

- ① 首都圏の旅行者向けに、山陰観光情報説明会の開催（平成27年9月2日 東京）
- ② レンタカー付旅行プラン造成支援事業及び滞在型観光バスツアー造成支援事業
- ③ 山陰海岸・隠岐ジオパーク旅行商品造成支援事業
- ④ 旅行雑誌や山陰地区コミュニティー誌等による両県のPR
- ⑤ 温泉マップの増刷、WEB版の作成
- ⑥ 「道の駅特典付クーポン」冊子の作成

NEXCO西日本実施の「ぶらり中国ドライブパス2015」に合わせて、「道の駅特典付クーポン」冊子の作成

⑦ 民間団体への事業支援

※当事業主体の「山陰観光推進協議会」は、平成28年4月に開設された「山陰インバウンド機構」に事業継承し解散のため、平成27年度で事業終了。

◇鳥取・岡山広域観光協議会に参加し、事業推進に当たった。

〈主な事業〉

①両県共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」での観光PR

（平成27年8月22日、9月28日、平成28年1月30日）

②旅行会社に対するプロモーションの実施

アンテナショップ開業1周年を記念して、首都圏発着の両県を巡る旅行商品を造成。

（平成27年10月～11月実施、各県宿泊の方へ両県産品をプレゼント）

③鳥取・岡山ドライブマップの改訂（50,000部）

④両県ポータルサイトに掲載するモデルプラン作成

両県観光連盟のホームページで発信

◇広く県内外へ旬の観光情報発を発信することと観光ニュースを毎月発行した。

約1,700カ所へ配信。また各プロモーターもメール等により1,500カ所へ配信。

（4）観光まちづくり人材育成事業	決算額 2,471,469円（1,200千円）
-------------------------	--------------------------------

◇連盟会員の要請に基づき、事務局職員及び観光プロモーターを講師として派遣するとともに、会員が行う人材育成研修に対し、支援事業を実施し、受け地としてのもてなしの向上やガイドのスキルアップ研修等を促進した。

〈観光人材育成支援事業の実績〉

第2種会員3団体 延べ4事業 受講者数延べ50名程度

◇連盟主催事業として以下の研修会を開催した。

①観光まちづくり研修（全3回）

- ・開催期日 平成27年9月11日（金）、10月2日（金）、11月6日（金）
- ・開催場所 倉吉市（第1、3回）、玉造温泉（第2回）
- ・講師 じゃらんリサーチセンター センター長 沢登 次彦氏ほか3名
- ・受講者 20名

- ・概要 観光客誘致を進める地域観光を担うリーダーの育成を図るため、観光まちづくりに必要な知識やノウハウの習得を主題とした全3回の研修を実施した。
観光のトレンドや企画立案のワークショップに加え、第2回では、観光客誘致やまちづくり、収益事業の成功事例として、玉造温泉の現地で開催し、現地の関係者の取り組みを直接体感する講義を行った。

② 全国広域観光振興事業

「ANAにおける人づくり・組織づくり～ESなくしてCSなし」講演会 と事例研究セミナー

- ・開催期日 鳥取：平成27年10月20日（火）、米子：10月21日（水）
- ・開催場所 鳥取：県民文化会館 米子：米子コンベンションセンター
- ・講師 ANAビジネスソリューション（株）人材・研修事業部
研修業務チームリーダー 林 靖子 氏
- ・受講者 鳥取：26名 米子：32名
- ・概要 「顧客満足（CS）を高めるために、いかにして従業員満足（ES）を高めるか」をテーマに、ANAグループの人づくり・組織づくり取り組みについて講義。県内の施設を代表して「砂丘会館」「ホテルモナーク鳥取」、「お菓子の壽城」「皆生グランドホテル華水亭」より自社のCSの取組を事例報告が行われた。アンケート結果からも「大いに参考になった。」「とても良い研修であった。」などの声をいただき、好評を得た。

③ 第1回「選ばれる観光地経営と鳥取型DMOのあり方研究会」

- ・開催期日 平成27年12月17日（木）
- ・開催場所 県民ふれあい会館（鳥取市）
- ・講師 近畿大学経営学部教授 高橋 一夫 氏
- ・受講者 46名
- ・概要 地方創生の柱の「観光」に対しての新たな取り組みとなる「日本版DMO」について、研修の第一人者としても知られる高橋教授より、日本（国として）における観光の役割、DMOに対しての考え方や先進海外・国内先進地域事例研究報告。地域DMOと地域連携DMOの連携と地域金融機関の関わり方等から「鳥取」としてのDMOの方向性について講義形式で研修を行った。

④ 第2回「選ばれる観光地経営と鳥取型DMOのあり方研究会」

- ・開催期日 平成28年3月9日（水）
- ・開催場所 倉吉未来中心
- ・講師 近畿大学経営学部教授 高橋 一夫氏
広島県商工労働局瀬戸内ブランド推進連合事務局主査 村木 智裕氏

広島銀行法人営業部シニアマネージャー

瀬戸内DMO事業化支援組織推進室事務局長 井坂 晋氏

・受講者 52名

・概要 日本型DMOの考え方の講義に続き、広域DMOの最先端に行く近畿・中国・四国の7県にまたがる「せとうち観光推進機構」による講演。

・広島県村木主査：事業構想から機構設立・実施までの経緯や事業内容

・広島銀行井坂シニアマネージャー：DMOと金融機関の役割

・パネルディスカッション：今後のDMOのあり方

(ファシリテーター高橋教授、前述講師2名、県内DMO先駆者鳥取中部観光振興機構蔵求事務局長、観連新専務理事)

(5) 教育旅行誘致促進体制整備事業 決算額 14,321,965円(11,600千円)

◇教育現場で広く取り入れられつつある体験型教育旅行を鳥取県内に誘致促進するため、

「鳥取県教育旅行誘致促進協議会」を設立。今後の受入関係機関、事業所相互の連絡協調、受け入れ態勢の充実、効果的な誘致活動の活性化を図るとともに、関係行政機関との密接な連携強化を目的に、テーマ毎の部会の組織化や先進事例の研修会、部会ごとの研究会を行った。また、新たにメインマーケットである関西に「教育旅行コーディネーター」を配置し、学校関係者、旅行会社、教育旅行研究機関との情報収集や提供等を行うとともに、鳥取県内の受け入れ機関との意見調整や教育旅行関係者との現地研修など、誘致活動を行った。

①「鳥取県教育旅行誘致促進協議会」設立と事業展開

(1) 鳥取県教育旅行誘致促進協議会設立総会

開催日時 平成27年6月26日(金)

場 所 エキパル倉吉

参加者 協議会会員、教育旅行関連団体、市町村、鳥取県等 計74名 82団体

開催内容 ○協議会設立

○日本修学旅行協会による講演

「これからの鳥取県の教育旅行誘致について」

○全国修学旅行協会による講演

「関西圏からの修学旅行の現状と今後の展望」

(2) 鳥取県教育旅行誘致促進協議会 合同研修会・合同部会(第1回)

開催日時 平成27年7月22日(水)

場 所 北栄町北条農村環境改善センター

参加者 協議会会員、市町村、鳥取県等 計44名

開催内容 教育旅行の特性

講演：先進地事例報告(徳島県 そらの郷)

部会(誘致、体験、民泊・宿泊) 毎で取組方針等を検討

(3) 鳥取県教育旅行誘致促進協議会 合同研修会・合同部会(第2回)

開催日時 平成28年1月28日(木)

場 所 エキパル倉吉

参加者 教育旅行関連団体、協議会会員等 計34名

開催内容 全国修学旅行協会理事長による講演

協議会の経過・今後の取組報告、部会(誘致、体験、民泊・宿泊)毎で取組方針等を検討

(4) 月刊誌「教育旅行」2月号に鳥取県特集ページの掲載

平成27年10月に、月刊誌「教育旅行」の発行元(公財)日本修学旅行協会が、鳥取県内の全域で体験施設等を中心に取材。鳥取県教育旅行誘致促進協議会の役員と日本修学旅行協会スタッフとの意見交換を実施。

平成28年2月1日発刊の「月刊教育旅行」2月号に、本県の教育旅行の取組が特集で掲載された。「とっとりで挑戦」と表紙に題され、「教育文化遺産 旧山形小学校」、教育旅行誘致への取組、米子市の取組状況、県内民泊・入場施設など、19ページにわたり紹介。

②県内の関係団体と勉強会・シンポジウム等への参加開催

(1) 江府町民泊事業検討会

・開催日 平成27年12月14日(月)

・参加者 鳥取県西部商工会産業支援センター、江府町役場農林産業課、江府町観光協会、休暇村奥大山 外3団体

・議題 教育旅行と民泊について、民泊実施に当たっての法規制について(旅館業法、食品衛生法)

(2) さじ地域づくりシンポジウム交流会「教育旅行の今後の可能性について」

・開催日 平成28年2月28日(日)

・参加者 五しの里さじ地域協議会関係者、鳥取市教育委員会事務局

・議題 教育旅行コーディネーターが、歴史、取り組みへの意義、市場環境と動向、民泊の意義などについて講義を行った

③県外先進事例視察研修の実施〔とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会と共催〕

・開催日 平成28年3月15日(火)～16日(水)

・参加人員 鳥取県教育旅行誘致促進協議会: 8団体 9名
因幡グリーンツーリズム : 13団体 18名

・訪問先 (一社)南紀州交流公社(和歌山県白浜町日置川地域)

・研修日程

1日目 南紀州交流公社の沿革、受入実績の説明を受け、実際の教育旅行民泊と同様に、参加者が3～4人毎に分かれ、それぞれの受入家庭に移動。受入先で共同調理、夕食、意見交換、宿泊を行った。

2日目 南紀州交流公社が実施している「ほんまもん体験」(製作体験)のメニュー「梅ジャム作り」、「紀州備長炭 風鈴作り」を体験。

- ・成果 既に数多くの教育旅行受け入れ実績のある(一社)南紀州交流公社での研修は、今後迎える教育旅行や民泊対して体制づくりや心構えや新たなメニュー作成の考え方などについて、学ぶべきことが多く非常に効果的な研修であった。

④体験型教育旅行の誘致活動

- ・学校、修学旅行協会関係者(旅行会社社員を含む)を対象に下見・現地研修会を実施
8団体26名の参加。
- ・関西圏において教育旅行情報説明会の実施
開催日 平成27年9月15日(火)
参加者 学校関係者、旅行会社、教育旅行関係団体、地元関係者等 55名
実施内容 誘致促進協議会概要説明、体験施設等のプレゼンテーション、商談会

⑤情報発信機能の強化

学校関係者が旅行会社に配布する教育旅行ガイドブック(30ページ)3,000部を、3月に作成。新学習指導要領で求められている「アクティブラーニング」に沿って、教育体験・研修内容を中心に120のメニューや宿泊施設リスト等を掲載。

◇「とっとりスタイルエコツーリズム」教育旅行誘致促進事業

- ・事業趣旨;本県で宿泊を伴う教育旅行を行う学校を対象とした宿泊費助成。
- ・支援内容;宿泊延べ人数×1,000円を補助(1団体上限30万円)
- ・支援実績;対象学校数及び対象人数・23校、延べ3,842名

《参考》近年の県内への修学旅行催行実績及び予定

H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
2校	1校	5校	6校	9校	6校

※行き先地の変更は学校側、父兄側の事情なども絡み、必ずしも容易ではないが、民泊や体験メニューの作成など、受け入れ側の量・バリエーション・質ともに充実化が必須であり、特に教育旅行においては、安全・安心は不可欠である。そのため、「鳥取県教育旅行誘致促進協議会」の設立や専任の教育旅行誘致コーディネーターの配置により、部会等の開催、安全管理や受入品質向上への取組強化を行い、誘致活動の一層の活性化、実績向上を図る。

(6) 観光事業優良従業員表彰

決算額 47,563円(50千円)

観光事業優良従業員の業績を評価し、6月4日の通常総会において表彰を行った。

表彰者数 : 優良従業員 10名

(7) ニューツーリズム推進事業

決算額 3,474,911円(3,379千円)

とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会から事務局運営を受託、職員1名を配置した。グリーンツーリズム推進のほか、教育旅行の受け地づくりの観点から鳥取県教育旅行促

進協議会との合同研修を行い、協同して事業展開を行うことで、連盟会員と協議会会員との交流や情報交換を活性化した。

2 観光客誘致対策強化事業

(1) AGT招致事業 決算額 3,562,579円(3,800千円)

観光プロモーターを中心に、首都圏、中京圏、関西圏、中四国・九州圏を対象に県外旅行会社の旅行商品造成担当者や販売担当者の現地研修を実施した。(ジオツアー分・教育旅行分含む) *観光プロモーター活動報告に実施状況詳細を掲載

[現地研修]

首都圏	5件	9名			
中京圏	8件	68名			
関西圏	4件	72名			
中四国・九州圏	4件	48名	計22回	197名	

※中四国・九州圏には、1件 中部2名、関西2名、中国1名の合同実施を含む

(2) 観光情報説明会等開催事業 決算額 5,162,682円(5,500千円)

首都圏、中京圏、関西圏、中四国・九州圏を対象に旅行商品を造成するために有効な情報を提供する説明会を実施した。特に平成27年度は、貸切バスの制度改正による金額の高騰化を招き、日帰りバスツアーの大幅減少傾向をうけ、その対策に近隣県へのプロモーション強化を図る中で、地元関係者からの要望として、バス制度による料金高騰化の影響が少ない広島地区において春季及び秋季の2回、さらに初めて岡山で説明会を実施した、各説明会時では、地元関係者が積極的に参加できる「商談会」を実施し、旅行会社との接点を増やし、商品化等を創出できる機会を提供した。

[観光情報説明会]

順	タイトル	開催日	AGT社数	AGT人員	鳥取関係者人員	備考
1	春季鳥取県観光情報説明会 関西	5/12	19	40	46	
2	春季首都圏誘致協意見交換会・説明会	5/15	12	21	13	誘致協共催
3	春季鳥取県観光情報説明会 広島	5/21	10	25	24	
4	春季鳥取県観光情報説明会 岡山	7/2	14	19	34	
5	秋季鳥取県観光情報説明会 福岡	9/8	17	31	19	懇親会
6	秋季鳥取県観光情報説明会 関西	9/9	16	41	34	
7	秋季鳥取県観光情報説明会 名古屋	9/14	29	60	39	懇親会
8	秋季首都圏誘致協意見交換会・説明会	10/13	10	18	14	誘致協共催
9	秋季鳥取県観光情報説明会 広島	11/5	19	31	23	

(3) ジオツアー造成推進事業	決算額 3,661,494円(3,500千円)
------------------------	--------------------------------

◇「山陰海岸ジオパーク」旅行会社等商品造成推進委託業務

① 県外旅行会社の現地招致

県外の旅行会社を現地に招致し、ジオパークの見どころ等の案内を行うとともに、意見交換会を実施。これを踏まえ体験メニューの充実化が次第に図られてきている。

・現地招致 8回 44名(2の(1)を含む)

② 旅行商品造成支援事業

次のとおり、パンフレット作成、メディア掲載などの支援を行った。

・中京圏1社(12名)、関西圏1社(71名)、中国圏2社(151名)の実績

(4) 観光プロモーター活動事業	決算額 24,017,828円(27,128千円)
-------------------------	----------------------------------

○関東圏、中京圏、関西圏、中四国・九州圏を担当する4名の観光プロモーターが、旅行会社の企画造成箇所、店頭販売箇所を日常的にセールスで訪問、本県の基本的な観光情報、新たな旬の情報を提供し、旅行商品造成と販売促進のプロモーション活動を積極的に展開してきた。

○また、各圏域の動向を県内に的確に提供し、旅行ニーズに則した魅力ある観光地づくりに役立てるとともに会員からの要請に応じ同行セールスや研修講師としても積極的に対応した。

○旅行業界での多年の経験や広い人脈などが会員の日々の観光振興の活動にしっかり活かされるよう引き続き県内各観光地との密接な協力関係を築くことに努める。

*活動詳細は後出

(5) ぐるっと山陰誘客促進事業	決算額 25,090,000円(31,000千円)
-------------------------	----------------------------------

◇県外からの誘客促進と観光素材集掲載箇所への立ち寄りを促すため、宿泊旅行商品を造成する旅行会社に対して、経費の一部支援を行った。

◇事業実施体系は次のとおり

①「きなんせとっとりツアー誘致事業」【第1期：4月～12月催行】

②「きなんせとっとりツアー誘致事業」【第2期：1月～3月催行】

※平成26年4月から貸切バス新運賃・料金制度が改定されたことから通年で実施

③「きなんせとっとり商品造成支援事業」

事業区分	商品造成支援事業	バスツアー誘致事業
補助の条件	◇鳥取県素材の露出・情報ページの掲出に関わるパンフレット作成 ◇販促目的の現地研修、店頭販促費等	◇県外出発、県内宿泊のバスツアー ◇連盟作成の素材集より1箇所以上の採択 ◇1団体20名以上
補助期間	◇平成27年1月～平成28年2月 平成27年4月～平成28年3月出発対象	◇平成27年4月1日～ 平成28年3月27日出発対象
補助内容	◇1事業所当たり500,000円を上限	◇バス1台当たり30,000円 ◇1事業所当たり150,000円上限
事業費	10,000千円	20,000千円
予算執行状況	9,430千円	15,300千円
実施状況	41件	310件、バス台数510台、 17,569人
その他	◇一県の価値ある旅（鳥取県）、 水木しげる先生を偲ぶ旅 FDAチャーターなど	◇県内2泊以上 2件 ◇出雲大社を含むもの；11件

3 観光客誘客キャンペーン事業

(1) ようこそようこそ鳥取きなんせキャンペーン事業 決算額 14,707,615円
(14,500千円)

◇会員と連携して、旅行会社店頭、大型ショッピングセンター等での観光資料、ノベルティの配付、ゆるキャラや観光大使によるPRなど主に個人客の誘客活動を行った。蟹取県ウェルカニキャンペーンを受託実施した。

① 県外AGT店頭キャンペーン事業

各圏域のショッピングセンターイベント広場や旅行会社店頭などで、パンフレット配布、ゆるキャラ撮影会や缶バッジ作成などの体験などのような鳥取県観光PRを実施し来鳥への誘客活動を行った。

【店頭キャンペーン】

首都圏	JTB船橋など	6件
中京圏	名鉄尾張一ノ宮など	4件
関西圏	日本旅行Tis大阪支店など	13件

中四国圏 JTBイオンモール倉敷など 2件 計25件

② 蟹取県ウエルカニキャンペーン

- ・実施目的：「カニの水揚量日本一」を切り口に「鳥取＝カニ」の認知向上、秋冬の観光誘客促進策として実施。期間中、対象となる宿泊施設に宿泊された方から抽選で毎月100名様に「鳥取のカニ」をプレゼントする。

※ 本キャンペーンは、鳥取県が実施主体。一部業務を受託、実施した。また、松葉がにのトップブランド「特選 とっとり松葉がに五輝星」の知名度向上を目的としたキャンペーンも併せて行われ、当連盟が受託実施した。

- ・実施期間：平成27年9月1日～平成28年2月29日
- ・内容：期間中、毎月抽選で100名に鳥取のカニをプレゼント（合計600名）
期間中、毎月抽選で100名にカニグッズをプレゼント（合計600名）
県民や県内の観光や水産関係者への同キャンペーンの周知やおもてなしの機運醸成策として、日本海新聞と連携して鳥取のカニ特集を掲載。
平成27年11～12月に、「五輝星」を5名にプレゼント
- ・予算額：8,300千円
- ・実施結果：キャンペーンへの応募総数 18,018通

③ 「おいでよ 鳥取キャンペーン」連泊特典企画（鳥取県観光客誘致促進協議会共同事業）

- ・実施概要：鳥取県内連泊滞在化の促進にむけて、県内連泊プラン購入者に鳥取県内の農産物直販所や道の駅で利用可能な1000円分クーポン券をプレゼント
- ・実施期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日
- ・対象会社：JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト、ANAセールス、HISなど
- ・実施結果：340件
- ・その他：利用額の半分は、鳥取県観光客誘致促進協議会が負担

④ 大型ショッピングセンター等でのキャンペーン

集客力の大きい都市近郊の大型ショッピングセンターやイベント会場などにおいて、着ぐるみとのジャンケン大会・記念撮影会、抽選会などを実施。観光パンフレット、ノベルティなどを配布し、鳥取県への誘客、PR活動を行うとともに一部ではアンケート調査も行った。

【ショッピングセンターにおけるキャンペーン】

- | | | | |
|-------|---------------|------|-------|
| ・首都圏 | 三井アウトレット木更津など | 8箇所 | |
| ・中京圏 | 東山動植物園など | 12箇所 | |
| ・関西圏 | イオン茨木など | 4箇所 | |
| ・中四国圏 | マツダスタジアム | 1箇所 | 計25箇所 |

(2) JRとの観光キャンペーン事業 決算額 2,000,000円(2,000千円)

山陰観光連盟山陰路部会事業として、JRと連携して事業を実施した。（各2,000千円負担）

- ・鳥取県（9月）、島根県（12月）のプレスツアーの実施

- ・博多駅前PRキャラバンの実施（9月）
- ・京都駅前PRキャラバンの実施（3月）

（3）とっとり観光親善大使活動事業 決算額 1,536,248円（1,500千円）

県内外の各種PRイベントや旅行会社等訪問の際に鳥取県の顔として観光PRを行う「とっとり観光親善大使」を各種イベント等に派遣し、本県の観光のアピールに努めた。

- ・委嘱期間：平成26年8月8日～平成28年10月31日
- ・委嘱人数：3人

氏名（ふりがな）	職業
稲井 巳幸（いない みゆき）	主婦
倉本 真梨菜（くらもと まりな）	会社員
村岡 千瑛（むらおか ちあき）	会社員

- ・派遣回数：64回

※ 実施一覧参照

〔近年の状況：H23年45回、H24年59回、H25年62回、H26年71回〕

4 情報発信・宣伝事業

（1）観光情報発信事業 決算額 27,215,590円（26,761千円）

- ◇観光ガイドマップの内容を最新のものに更新しつつ、関係先に配布したほか、観光キャンペーン、コンベンション等での利用に供した。（観光ガイドマップ46万部）
- ◇「平成27年度鳥取県観光素材集・下期食事編」を3,000部作成し（4月）、観光情報説明会、プロモーション用として活用した。
- ◇「平成28年度鳥取県観光素材集」を4,000部作成し（8月）、観光情報説明会、プロモーション用として活用した。
- ◇ホームページの内容充実、最新情報への更新に努めるとともに、教育旅行向け、連盟会員向けページを開設。ツイッターを開設しフェイスブックとともに臨機な話題提供など実施した。（4月～3月 訪問数対前年118.3%、ページビュー対前年101.2%）
- ◇観光ニュースを毎月発行し、旅行会社等へ旬の情報を提供した。（約1,700カ所）
- ◇卓上カレンダーを作成し（4,500部）、旅行会社等への年末年始の営業用に活用した。

（2）観光連盟推薦みやげ品PR事業 決算額 124,398円（200千円）

- ・本県の観光土産品の内容・評価を高めるため、推薦観光土産品の指定を行った。
- ・審査会：平成27年10月23日（金）
- ・審査員：鳥取県観光みやげ品協議会長 河越行夫氏ほか8名
- ・場所：ホテルセントパレス倉吉

- ・指定品目：12品目、19点（現在25品目45点）＊認定期間は2年

(3) フィルムコミッション業務受託事業 決算額 4,820,549円(4,238千円)

◇概要

平成26年4月より、「鳥取県フィルムコミッション」として、専任職員1名を配置し、映画、テレビドラマ、テレビ番組、CM、プロモーションビデオ、広告写真などのロケーション撮影が円滑に行われるための支援業務や誘致活動を行っている。

◇業務内容

- ・ロケ候補地の情報収集と情報提供
- ・撮影ボランティアの募集、手配の協力
- ・国、県、市町村、警察など公的機関への必要な許可申請手続きの案内、協力
- ・宿泊施設、飲食店、弁当、各種資器材業者、ロケバス車両等の紹介
- ・ロケハン、ロケーション撮影の同行
- ・ホームページの開設、SNSによる支援作品の情報提供、全国ロケ地フェアへの参加、ジャパン・フィルム・コミッションへの加入などを通じたロケーション撮影の誘致活動
- ・ロケーション作品を活用した観光誘致活動ロケ

◇ロケ支援等の状況

概要

区分	平成27年度(3/31現在)	平成26年度
問い合わせ件数	111件	61件
放送、公開、出版された実績	58件	36件

※ 実施一覧参照

5 会員との誘客連携事業（収益事業）

(1) 他団体との協同・連携事業 決算額 5,839,413円(5,500千円)

鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合、鳥取県観光施設連絡協議会等と協同で誘客対策事業を実施した。

①鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合活性化委員会への助成（2,491千円）

ア 中京圏エージェント訪問

実施期間：平成27年5月14日

参加者：委員会関係者、観光プロモーター

訪問会社：中京圏旅行会社：4社

イ 首都圏旅行会社との意見交換会

実施期間：平成27年5月15日

開催場所：東京

意見交換会参加者：旅行会社12社21名 地元関係者13名

ウ 首都圏旅行会社との意見交換会

実施期間：平成27年10月13日

参加者：旅行会社10社18名、地元関係者18名

エ 旅行会社招致現地研修

〈中京圏・中四国圏〉実施期間：平成27年 9月 9日～10日

参加者：旅行会社 6社26名

〈関西圏〉実施期間：平成26年10月 1日～ 2日

参加者：旅行会社 5社18名

②鳥取県観光施設連絡協議会との連携事業（400千円）

鳥取観光おとクーポン企画を、三朝、はわい・東郷温泉で実施。

巨人軍優勝記念日帰りツアー（広島・福山出発）等の事業を支援。

③ 会員との連携事業の取組

◇平成26年度8月理事会で採択された「支援ガイドライン」を基に、一定規模以上の誘客効果を基準に支援を行った。

平成27年度実績

- | | |
|--------------------------------|----------|
| ・「中西圭三&井上あずみ&ゆーゆスペシャルコンサート」協賛 | 支援額250千円 |
| ・「JA大阪南年金友の会」協賛 | 支援額239千円 |
| ・「京都中央信用金庫 いで湯旅行会」協賛 | 支援額459千円 |
| ・「第10回ゆるキャラカップ in 鳥取砂丘」協賛 | 支援額600千円 |
| ・「鳥取砂丘イリュージョン2015」協賛 | 支援額200千円 |
| ・「冬のフラワーイルミネーション in とっとり花回廊」協賛 | 支援額300千円 |
| ・「第19回 中華コスプレ大会」協賛 | 支援額 50千円 |
| ・「NEXCO 冬タイヤキャンペーン時鳥取県PR」協賛 | 支援額131千円 |

(2) 地域部会設置運営・支援事業

決算額 630円（100千円）

近年、バス代金の変化、個人グループ旅行の台頭など、観光を取り巻く変化に対応していく中で、会員との情報、意見の交換の場として開催した。

〈実施状況〉

◇平成26年6月に開催。主な議論検討の内容は以下のとおり。

- ・岡山地区での観光情報説明会の開催（7月実施）の説明
- ・山陽方面での一般向けプロモーション活動
 - 中国道加西SAでのPR
 - 岡山イオンモール、イオンモール倉敷でのPRイベントの実施
- ・秋の旅行会社向け観光情報説明会の実施

6 収益事業

観光PRノベルティ作成事業	決算額	1,397,588円(1,000千円)
---------------	-----	---------------------

◇収益事業である開運八社巡りの手ぬぐい、福紗及び観光名刺の作成を行った。

- ・ 申年開運手ぬぐいの作成 4,000枚
- ・ 観光名刺の印刷 5,100枚

7 会議

(1) 総会

① 通常総会

- 開催日 平成27年6月4日(木)
- 場 所 倉吉シティホテル
- 議 事 ア 平成26年度事業報告について
イ 平成26年度収支決算報告について
ウ 役員を選任について

② 臨時総会

1) 第1回

- 開催日 平成27年8月21日(金)
- 場 所 ホテルセントパレス倉吉
- 議 事 ア 役員を選任について
イ 平成27年度予算の補正について

2) 第2回

- 開催日 平成28年3月24日(木)
- 場 所 ホテルセントパレス倉吉
- 議 事 ア 平成27年度補正予算について
イ 平成28年度鳥取県観光連盟事業計画について
ウ 平成28年度収支予算について
エ 役員を選任について

(2) 理事会

① 第1回

- 開催日 平成27年5月19日(火)
- 場 所 ホテルセントパレス倉吉

- 議 題 ア 平成26年度事業報告について
イ 平成26年度収支決算報告について
ウ 役員を選任について
エ 平成27年度観光事業功労者及び観光事業優良従業員の表彰について
オ 会員の入・退会について
カ 通常総会の招集について

協議・報告事項等

- ア 会員向けサイトの開設について【出会いふたたび鳥取の旅づくり事業関連】
イ 中国自動車道加西SA下り線の鳥取県観光情報発信拠点化の取組について
ウ 教育旅行の誘致協議会の立ち上げに向けた取組について
エ 鳥取県観光素材集について
オ 関西圏春季観光情報説明会の開催結果について
カ 各観光プロモーターの平成26年度の活動報告及び平成27年度の活動方針について

② 臨時理事会

開催日 平成27年6月4日(木)

場 所 倉吉シティホテル

議 事 代表理事(会長)及び業務執行理事(専務理事)の選任について

③ 第2回

開催日 平成27年8月21日(金)

場 所 ホテルセントパレス倉吉

- 議 事 ア 役員を選任について
イ 平成27年度予算の補正について
ウ 会員の入会について

協議・報告事項等

- ア 「出会い ふたたび 鳥取の旅づくり事業」の実施状況について
イ 鳥取県教育旅行誘致促進協議会の設立及び活動について
ウ 県外における観光情報説明会の開催予定について
エ 「ぐるっと山陰」誘客促進事業の実施について
オ 他団体等との協同・連携事業について
カ 平成27年度各観光プロモーターの活動報告について
キ とっとり観光親善大使の選考結果について
ク 「鳥取においでよプレゼントキャンペーン」の実施結果について
ケ 当面の県外での観光情報説明会の開催予定について
コ 各観光プロモーターの活動状況について

④ 第3回

開催日 平成27年12月15日(火)

場 所 倉吉シティホテル

議 事 ア 平成27年度予算の補正について

協議・報告事項等

ア 「ようこそようこそ鳥取誘客キャンペーン事業」の実施状況について

イ 「出会い ふたたび 鳥取の旅づくり事業」の実施状況について

ウ 鳥取県教育旅行誘致促進協議会の活動状況について

エ 県外における観光情報説明会の開催結果について

オ 「ぐるっと山陰」誘客促進事業について

カ 「観光まちづくり人材育成事業」について

キ フィルムコミッション受託事業の実施状況について

ク 「因幡伯耆國 開運八社巡り」の実施状況について

ケ 他団体との協同・連携事業について

コ 平成27年度各観光プロモーター等の活動報告について

⑤ 第4回

開催日 平成28年3月2日（火）

場 所 ホテルセントパレス倉吉

議 事 ア 平成27年度補正予算について

イ 平成28年度事業計画について

ウ 平成28年度収支予算について

エ 役員の選任について

オ 会員の入・退会について

カ 臨時総会の招集について

協議・報告事項等

ア 平成28年度の組織体制について

イ 内閣府公益認定委員会事務局による立入検査の受検結果について

ウ 「選ばれる観光地経営と鳥取型DMOのあり方研究会」の開催について

エ 公益社団法人鳥取県観光連盟の現行会費の算定及び今後について

オ 「トットリ THEパーク!!誘客キャンペーン」の実施状況について

カ 鳥取の旅づくり・魅力ある観光地づくり事業について

キ 鳥取県教育旅行誘致促進協議会活動経過について

ク 「ぐるっと山陰」誘客促進事業の取組状況について

ケ 「蟹取県ウエルカニキャンペーン」の実施状況について

コ 「因幡伯耆國 開運八社巡り」の取組状況について

サ 「鳥取県フィルムコミッション」の取組状況について

(3) 監査

実施日 平成28年5月9日（月）・10日（火）

場 所 北栄町、関金町、鳥取市（連盟事務局内）
事 項 平成27年度事業実施状況及び決算状況